

FinTech ベンチャーのグローバルモビリティサービス 4カ国目となるインドネシアに現地法人を設立

Global Mobility Service 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員/CEO:中島徳至 以下「GMS」）は、インドネシア共和国に進出し、独自のIoT技術を活用したFinTechサービスを提供すべく、同国に現地法人 PT. Global Mobility Service Indonesia（以下、「GMS インドネシア」）を設立しましたことをご知らせいたします。日本、フィリピン、カンボジアに引き続き、4カ国目の法人設立です。

1. GMSの取り組み

GMSは、自動車を始めとするモビリティの遠隔起動制御を可能にする独自開発のIoTデバイス“MCCS”と、モビリティサービスプラットフォーム（MSPF）を活用し、フィリピンを始めとするASEAN・日本市場を中心に、ローンやリースを利用したくとも従来は審査に通過できなかった人々が、ローンやリースを利用できるようになるFinTechサービスを提供しています。

インドネシアでは主に同国発展のために必要不可欠な人々の移動手段であるタクシーを始めとする、仕事をするために自動車を必要とする方々を対象とした画期的なローンやリースを実現するFinTechサービスを提供していきます。このGMSが提供するサービスにより、従来はローンやリースの審査に通過することができなかった人々でも車を購入し、就業機会の獲得、及び所得の向上を実現することができるようになります。GMSは提携パートナー各社と共に、サービスを提供していきます。今後、提携パートナー各社との取り組みについては、随時発表させていただきます。



【GMS インドネシア オフィスビル】



【GMS インドネシア 社員】

2. インドネシア共和国への現地法人設立の概要と背景

GMS インドネシアの概要は、下記の通りです。

名称	PT. Global Mobility Service Indonesia
所在地	インドネシア共和国ジャカルタ市
代表	中島徳至（GMS 代表取締役 社長執行役員/CEO）
資本金	100 億 IDR
株主	Global Mobility Service 株式会社 100%

東南アジア最大の 2.6 億人もの人口を有するインドネシアは GDP 成長率が 5 % を超え、2070 年まで総人口は増え続けると予測されるなど、経済成長の著しい国です。そのような経済環境の中、自動車を手にし、タクシーや物流等の仕事に就きたいという人々が数多く存在しています。しかし、ローン審査に通過できないために車を購入できない方々が多く、就業機会を損失しています。

これまで GMS は日本、フィリピン、カンボジアに法人を構え、「車さえあれば職を手にすることができて生活が豊かになる」という人々に対し、車の購入・利用機会を創出する FinTech サービスを提供してきました。この FinTech サービスの需要は、日本、フィリピン、カンボジアにとどまらず他の ASEAN をはじめとする各国においても同様であり、この度はインドネシア現地からの GMS の FinTech サービスへの期待と、サービス提供要請に応え、インドネシアへの進出を決定しました。

GMS インドネシアは、同国において独自の FinTech サービスを提供することで、それらの人々がローンの審査に通過し車両を購入できるようになる画期的なファイナンスを、提携ファイナンス会社各社と共に創出し、同国の成長、現地の人々の生活水準の向上に貢献すべく取り組んでまいります。

GMS、GMS インドネシアの今後の取組みに、どうぞご期待ください。

<問い合わせ先>

Global Mobility Service 株式会社

担当：高橋・野崎

本社：東京都港区芝大門一丁目 12-16 住友芝大門ビル 2 号館 4F TEL：03-6264-3113

E-mail: press@global-mobility-service.com

URL: <https://www.global-mobility-service.com/>

<Global Mobility Service 株式会社について>

設 立：2013年11月

本 社：東京都港区芝大門一丁目12番16号 住友芝大門ビル2号館4F

代 表 者：中島 徳至（代表取締役 社長執行役員/CEO）

事業内容：・モビリティサービスプラットフォーム（MSPF）の提供
・クラウド上に蓄積したビックデータの二次活用サービス